

今年の夏は“これで”涼しく！！

きさらづパレットシャツを着用してオーガニックビズ！

木更津市が取り組んでいるオーガニックビズのひとつとして、麻を含むオーガニックな生地を使い、肩の部分にはきさらづパレットをプリントした「きさらづパレットシャツ」を作りました。

きさらづパレットは、木更津市市制施行80周年（令和4年度）を記念し、市内の小学生が「未来の木更津市に残したいもの」をテーマに描いたアートの数々を、パレットのようにデザインしたもので、20年後の100周年に向けた想いが詰まったものです。

このたび、市長をはじめ特別職のほか、職員有志もきさらづパレットシャツを着用し、業務にあたっています。

脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、気温に合わせた服装で業務効率を図り、また子どもたちの未来に向けた希望も感じながら、このシャツで暑い夏を乗り切っていきたいと思います。

なお、シャツの制作につきましては、きさらづパレットの制作にもご支援をいただきました、テンボデザイン事務所様にご協力をいただきました。

1. オーガニックビズについて

木更津市では、本年4月から、「オーガニックビズ（TPOに応じた服装の自由化）」を導入しました。オーガニックビズは、TPO（時間や場所、場面）に応じた服装の自由化を実施し、職員一人一人が、市の職員である責任を持ったうえで、

- （1）業務に支障をきたさないこと
- （2）清潔感を保つこと
- （3）不快感や威圧感をあたえないこと

を基本として判断、実施しています。

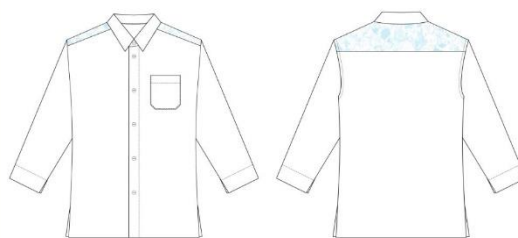
2. オーガニックビズの目的

快適で働きやすい服装を選ぶことで、室温の適正化による自然環境への配慮やジェンダー平等の実現、健康管理と職務効率の向上等を目的とします。更に、オーガニックビズの実施により業務の効率化につなげることで市民サービスの向上を図ります。

きさらづパレットプリントイメージ



【きさらづパレット柄の入り方】



テンボデザイン事務所のご紹介

デザイナー鶴田能史氏が2015年に立ち上げ、2020年に木更津市に事務所を移転。tenboでは障がいの有無や年齢、性別を問わずすべての人に向けた服づくりを実践しています。

鶴田氏には、2022年の木更津市市制施行80周年記念事業として、子どもたちとのワークショップで作成した「きさらづパレット」のほかにも、記念事業のひとつとして子どもたちが参加できるファッションショー「KISARAZU COLLECTION」をプロデュースしていただきました。



きさらづパレット